

「直前講義2(構造施工)」の質疑回答

	質疑	回答	備考欄
7/12	標準養生=調合管理強度で暗記して良いですか？	多くの場合は、標準養生の供試体の圧縮強度が調合管理強度以上となるので、覚えることを最小限におさえるなら、その覚え方でも良いと思います。	
7/12	ある資格学校で施工は直近2年分は出題されないという講師がいたのですが、気にしないほうがいいのでしょうか？	確かに、数年前までは施工科目では、2年連続、同じ内容の問題が出題されていませんでしたが、最近では施工科目の類似問題が出題されています。 なので、あまり気にしない方が良いと思います。 例えば、03152と04154とか、03203と04203などはまとめて覚えておいた方が良いと思います。	
7/12	構造の計算問題 断面の性質ですが、いつも水平、垂直どちらが二乗、三乗するのかわからなくなります。いい覚え方や考え方がないでしょうか。	長方形断面の断面二次モーメントIは、基準軸に平行×直交×直交×直交/12、断面係数Zは、基準軸に平行×直交×直交/6のように、基準軸に平行方向は常に1乗です。	
7/12	26022 p.15付近 設計図書の正しい優先順番は問題の並びだと ③①④②⑤になりますか？	その通りです。	
7/12	施工の図面の優先順位の質疑回答書は、入札前契約前に提出される質疑回答書ではないのでしょうか	その場合もありますが、図面を施工業者に渡した後に、施工者から工事をより簡単にするために工法を変更してほしいといった要望や不整合や矛盾について質問を受けることがあります。それらの回答書となります。	
7/12	23201の免震に関してですが応答加速度が小さい時、大きいときの地震力や周期の関係がわからなくなってしまうのですが、周期が長いとき応答加速度が小さくなるというのはFhのグラフのイメージでしょうか。(hが大→Fh小→応答加速度小=地震力小)	木造住宅以外の建築物で用いられている積層ゴム系免震アイソレータは、アイソレータが設置されている免震層より上部建築物には、地震動があまり伝達されません。 免震層の周期を4~4.5秒程度の長周期とすることで、この絶縁機能を発揮されています。 その結果、免震層より上部の建築物に生じる応答加速度などは小さくなります。	
7/12	18211については、限界耐力計算でもよいという理解でよいでしょうか	高さ60m以下の建築物においては、建築物規模に応じて、「ルート1からルート3の計算方法」で行うか、限界耐力計算や、他の同等の構造検討を行う必要があります。 つまり、18211も限界耐力計算で計算を行う場合は、ルート3の計算は必要ありません。	
7/12	上記の補足で、限界耐力計算でもよければ保有水平耐力を算出しなくてもよいという理解でよろしいでしょうか。	その通りです。	